

# 宮城県土木部との意見交換会

広報委員長 高橋 克実

## 1. はじめに

宮城県土木部と当協会の意見交換会が、平成24年12月19日(水)13:30～15:00に宮城県建設産業会館にて開催されました。その内容を以下にご報告いたします。

## 2. 出席者

宮城県土木部からは、技術担当次長 鷲巣俊之様、事業管理課長 門脇秋彦様、事業管理課技術補佐(総括担当) 丹治一也様、事業管理課技術補佐(工事管理班班長) 菊地 潤様、事業管理課技術補佐(技術企画班班長) 木村嘉雄様の5名がご出席されました。

当協会側からは、早坂理事長、大友理事・総務委員長、新田理事・技術委員長、熊谷宮城県理事、蓑 宮城県理事、村上事務局長、高橋の7名、記録係として真坂広報委員、大沼広報委員が出席しました。

## 3. 主な内容

大友総務委員長が司会を担当し、鷲巣次長と早坂理事長による冒頭挨拶と出席者の紹介の後、鷲巣次長から「東日本大震災からの復興に向けて」と題し、県側でご用意いただいた資料をもとに、それぞれの施策の特徴や事業予算ならびに進捗状況などをご紹介いただいた。宮城県が平成23年10月に策定した「宮城県震災復興計画」は、復興を達成するまでの期間をおおむね10年間とし、平成32年度を復興の目標に定めていること、その計画期間を「復旧期」、「再生期」、「発展期」に区分し、とくに、復旧期の段階から、再生期・発展期に実を結ぶための復興の「種」をまくという方針で取り組んでいる

ことなどのご説明いただいた。また、当協会からは、新田技術委員長が、会員の技術力向上のための活動や「地質調査」を正しく理解してもらうために取り組んでいる対外的な講習会の開催・機関誌発行による啓発活動などを紹介した。

意見交換では、当協会が提示した①地質調査技術の有効活用②地質調査の適切な発注③復興事業の進捗状況と今後の予定についての3項目を中心にして率直な討議がなされた。

当協会の提示と県側の回答は以下のとおりです。

①有効活用については、当協会が設計と施工の協議の場に地質調査技術者が積極的に参画できる仕組みづくりを要望したのに対して、県側から、21年度から三者会議というものを施行しており、23年度は震災があったため中断はしたが、今年度は15件程度を目標に進めていること、今回の震災関係でも、河川や海岸の堤防、道路の復旧、その他において、発注者側だけでなく施工業者側にも地盤情報が伝達されることの重要性を認識させられた感があり、三者協議という正式な形になるのか、違う形になるのか、ということもあるが、地質調査技術者が積極的に参画できる仕組みの構築を検討したいとの回答をいただいた。

②発注方式として、当協会が地域精通度を考慮した業務評価をもとにした発注方式の導入を要望。県側から、震災前においては、価格だけではなく良好な品質を確保するという一方で、総合評価方式を21年度から施行、プロポーザル方式は建築分野で平成6年度より導入している。今回の震災で

は緊急的な発注形態を取らざるを得なかったが、復旧・復興事業が一段落した段階で、より本来である価格だけでなく技術力、場合によってはより技術力の高いところでのものを目指すための入札方式を検討したいとの回答をいただいた。

そのなか、測量設計業務と地質調査業務の分離発注については、業務の形態とか、今までもやはりボーリングをきちんと地質調査で評価してもらうものは単体でお願いしていたし、地質調査と構造体を一連にすぐにやらなければならないものについては、一緒にやっていくこととなる。状況に応じて判断していくとのことでした。

③復興事業の進捗状況と今後の予定については、当協会が復旧・復興関連の地質調査業務が大量に発注され、ボーリングマシンとそのオペレーターの不足している現状とともに、今後の補正予算の状況を見通すなかでさらに増大が予想されるため、十分な履行期間の設定、工期・納期の延長などの柔軟な対応を要望。県側から、工事の場合と同様に、あくまでも予算措置上、但し書きを付けながら発注ということも整備した上で、必要に応じて繰越しを前提とした発注を行う考えがあるとの回答をいただいた。

④その他として、設計積算の見直し、オールコアボーリング単価の導入について討議し、県側から、今後の状況を見ながら検討するとの回答をいただいた。また、災害対応の今後のあり方などについても討議し、県側からは、災害時には当協会も含めた各団体との広域的な連携を図れるよう、より効率的、迅速的に対応できる方向について検討していきたいとの回答をいただいた。

最後に、早坂理事長が県側に対し、当協会は県と一緒に今後宮城県の復旧復興計画について協力して取り組んでいくことをアピールし、議事を終えました。

#### 4. 謝辞

当協会との意見交換会を快く承諾され、資料作成など意見交換会当日までに多大の準備と意見集約にご協力をいただいた宮城県土木部の関係各位に厚く御礼申し上げます。また、記録・写真係を担当していただいた真坂委員、大沼委員の広報委員各位に心より感謝いたします。



ご挨拶される齋藤次長とご臨席いただいた宮城県土木部各位



会場での意見交換の様子